

# 感 頭 言



新潟県立大学理事長・学長

若杉隆平

## グローバルで多様な世界と 繋がる新潟の豊かさ

新たな時代への期待とともに令和を迎えました。「ビューティフル・ハーモニー（美しい調和）」が共感をもって世界に広まることを目につつ、平成の30年間に積み重なった課題への新たな取り組みを考える節目を感じます。量的充足を求めて一途に成長を遂げた昭和の時代と異なり、平成は勢いよく成長する時代ではありませんでしたが、平等の目線からお互いの多様な個性を認め合う民主的基盤やグローバル化を通じて世界の多様な人々と繋がる社会基盤が醸成されたように思います。また個性と多様性の尊重が量から質への豊かさの変化に繋がっていると感じます。

こうした変化に情報技術（IT）のイノベーションが計り知れない役割を果たしています。ITはモノやサービスの生産と消費のグローバル化を進めました。新潟の企業や農業生産者はサプライチェーンを通じて世界各地の生産者・消費者とリンクしています。新潟の消費者もしかりです。異なる価値観を持った人々が世界各国・地域から新潟を訪れ、外国人労働者が新潟で本格的に就業する日も近づいています。

令和に引き継がれた人口減少、高齢化、所得格差と中間所得層の衰退は地域にとって重い課題ですが、美しい自然や人々の優しい気遣いに優れる新潟の風土は大都市圏にない可能性を秘めています。ITの革新は分散や小規模といった地域のハンディを緩和します。新潟独自の豊かさが世界のモノやヒトとリンクし、質の高さや多様性を求める内外の人々から注目されれば、新潟の新たな発展が見えてきそうです。

こうしたことに大学としても貢献したいと思います。優れた学びを求めて新潟の地に内外から若人が集い、地域に根ざして世界に活躍する人材育成をする高等教育機関の貢献は小さくありません。令和を迎えた本年、新潟県立大学は10周年を迎えました。地域の各界の方々と連携しながら新しい時代にふさわしい役割を担っていきたいと願っています。

（わかすぎ りゅうへい）

### ◆プロフィール◆

横浜国立大学・慶應義塾大学・京都大学教授を歴任し、平成29年4月1日より現職。  
新潟県新総合計画策定検討委員会委員（座長）を務めた。経済学博士（東京大学）。